

子どものための狂言体験講座

感受性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い

狂言師・茂山千三郎が演出します

「狂言」を通じて、日本の伝統を身近に感じてもらうための体験講座です
新作狂言「茨木童子2014」の子ども役オーディションも兼ねて行います



◆対象・定員 小学1年～4年の児童40人。保護者同伴でご参加ください。

◆講師 大蔵流狂言師 茂山千三郎・鈴木 実

◆開講日時 ①9月14日(日)16:00～18:00

②9月28日(日)16:00～18:00

③10月5日(日)18:00～20:00

④10月13日(月祝)18:00～20:00

◆開講場所 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)2階・多目的ホール

◆受講料 無料

◆準備物 動きやすい服装で、靴下または足袋を着用してご参加ください

◆お申込み (公財)茨木市文化振興財団・文化事業係072-625-3055(市民会館ユアアイホール1階9:00～17:00)
7月3日(木)9:00から先着順に受け付けます。(電話またはご来館)

◆備考 1) 受講者の中から、新作狂言「茨木童子2014」(10月19日実施)に子ども役として出演いただく児童4人を選抜いたします。
選考は、作・演出の茂山千三郎が行います。出演予定日程は以下のとおりです。

10月18日(土)12:00～15:00「お練り」(茨木市市民会館～茨木別院～茨木市市民会館)

「お練り」終了後、茨木別院でリハーサル。

10月19日(日)午前＝リハーサル/12:30～14:00 1回目公演/15:30～17:00 2回目公演(茨木別院本堂)

2) 受講児童の皆さんには、10月18日の「お練り」への参加についてもぜひご協力ください。これは、それぞれ鬼の仮装をして、茨木童子の囃子歌を歌いながら商店街などを練り歩くものです。保護者の皆さんも一緒に鬼の仮装でご参加ください。お練りには一般公募の方も加わります。

3) 演出の都合によっては、子ども役4人の他に本番公演のご協力をお願いする場合があります。

4) 「本番公演」、「お練り」ともに出演に伴う謝礼等はありません。

5) 講座の様子は主催者により撮影し、情報誌、ホームページ、フェイスブック等において公開される場合がありますので予めご了承ください。



茂山千三郎



鈴木 実



大阪府芸術文化振興事業



大阪府文化振興基金
Osaka Prefectural Fund
for The Enhancement
of Cultural Activities

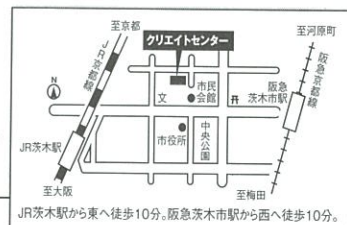
◆主催：(公財)茨木市文化振興財団/追手門学院大学地域文化創造機構

◆制作：サブ・アーツ(茂山千三郎事務所)

◆協力：いばらき童子プロジェクト/茨木にぎわい亭/茨木阪急本通商店街振興組合/追手門学院大学学生(茨木童子地域貢献プロジェクト等)

◆後援：茨木市/茨木市教育委員会/茨木商工会議所/茨木市観光協会

クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩10分。



茂山千三郎(しげやま・せんざぶろう)

1964年9月4日、十二世茂山千五郎の三男として生まれる。自主公演の花形狂言会やTOPPA!を主宰し、古典狂言の魅力をアピールする。その反面、FM京都のパーソナリティを14年勤め、京都市交響楽団や立川志の輔、夏川りみ、藪内佐斗司らともコラボし、古典の枠にとらわれない活動を展開。『だんご髷』、『都わたり』など、新作狂言の脚本も手掛け、中でも『流れ星-X』は愛・地球博その他で発表し、各地エコロジー団体より上演の要請を受ける。近年では團伊玖磨作曲のオペラ『ちゃんちき』を演出し、UFJ信託銀行奨励賞受賞。著書に集英社新書『世にもおもしろい狂言』がある。

鈴木 実(すずき・みのる)

1978年7月10日、東京に生まれる。2002年に「café 1036 east」(東京・茂山千三郎社中)で狂言の稽古を始め、2006年に千三郎の元に正式入門する。それまでは、大学在籍中より演劇活動を始め、関東を中心に役者・モデルとして活動をしてきたが、狂言の魅力に取り憑かれ狂言師を目指す事を決意。同年、インド・ニューデリー日本文化センター開所式記念公演に参加。『棒縛り』にて初舞台。2007年、京都能楽養成会入会。2011年より、同門の島田洋海、増田浩紀、井口竜也、山下守之らと狂言「五笑会(ごしょうかい)」を結成。年4回、京都府立芸術会館にて狂言会を催す。2013年、京都能楽養成会卒業。日本能楽協会入会。同年4月に独立。11月に独立披露狂言を開催。日本能楽協会会員。



◆昨年の体験講座から

